

大和郡山 防災ニュース 28. 10月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

台風16号接近、避難準備情報発令しました

去る9月20日、台風16号の影響で大雨となり、佐保川番条測位点の水位が2.8mを越え避難準備情報が発令されました。避難準備情報とは、高齢者等特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階で人的被害の発生する可能性が高まった状況で、該当する人に避難行動を促すものです。午後4時10分～5時30分の間発令され、小中学校、公民館など避難所7箇所開設しました。発令の伝達方法は、市民安全メールと自治会長への電話連絡でした。自治会の皆様にはお世話をおかけいたしました。また情報が十分伝わらなかったというご意見もありました。今後、迅速で確実な伝達方法を考慮してまいりますのでご理解をよろしくお願ひします。

災害対策本部(通信)立ち上げ、図上訓練行いました

去る8月31日、防災センター(消防署)において、郡山警察署・大和郡山消防署・消防団・市民安全課の合同で、災害時図上訓練を行いました。大地震で庁舎が使用不能になったとき、警察署と市は災害対策本部を防災センター4階の会議室に設置することになっています。訓練では、当日午後1時に震度6強の地震が発生した想定で、アドリブを交えた被害状況を屋外に待機した各職員や消防団員から無線で報告してもらい、これを本部がいかに冷静に受け付けて記録し、対処指令や各部署間の情報共有ができるかというものでした。

また、2時から市内マンションが倒壊し、取り残された住民がいるという設定で、ヘリコプターからのカメラによる確認、ハシゴ車やレスキューによる救出訓練が行われました。訓練後は反省会において消防団員などから意見が出され、有意義な訓練になりました。今後このような訓練を積み重ねて、いずれ住民の皆さんも参加できる大きな訓練にしていけたら良いなあと考えています。

自主防災組織と消防団防災のつどいを開催します

自主防災組織と消防団は災害時の「共助」を担う双壁ですが、今まであまり交流がありませんでした。そこでいざという時のため「顔の見える」関係を構築するための「つどい」を開催することにいたしました。開催は10月、11月で自主防災組織代表者(代表者が不明なときは自治会長)にご案内を送付いたします。ぜひとも多くの代表者様のご出席をお待ちしています。

小中幼教頭会の会合で防災研修を行いました

去る8月25日に片桐地区公民館において、小中幼教頭会防災研修が開催されました。研修の主題は、災害時におけるBCP（事業継続計画・自然災害等緊急事態に遭遇した場合事業継続あるいは早期復旧のための平常時に取り決めておく計画）でした。なお、市内小中学校・幼稚園はいずれも災害時の避難所に指定されています。今後、各学校・園の実情に合った避難所マニュアルづくりを進めるため、数ヶ月かけて1校・園ずつ巡回させてもらうことにも了解いただきました。

消防団奈良県ポンプ操法大会出場しました。

去る8月23日、消防団の額田部分団が、奈良県のポンプ操法大会に出場しました。ポンプ操法とは、火災現場での消火活動を想定し、消防ポンプ車で現場に駆けつけ、設置された防火水槽から、給水し、火災箇所を想定した火点(かてん)と呼ばれる的にめがけて放水し、撤収するまでの一連の手順を演じるもので、ポンプやホースなどの操作を速く正確に行い、また動きの規範的な美しさを競うものです。額田部分団では、4月12日から毎週2日間、夕方7時から2時間半、消防署の玄関先で厳しい練習を行ってきました。残念ながら入賞はなりませんでした。この経験は額田部のみならず消防団全体の財産になることと思います。選手の皆さんお疲れ様でした！

避難所ゲーム「HUG」購入しました

地震などの大災害で家が壊れたり、流れたりした被災民の皆さんが、場合によっては数ヶ月学校の体育館や公民館で様々な人々とともに生活しなければならない状況になることは、既に過去の震災等の映像でもご存じと思います。そんな時、避難所にはどのような配慮を持って秩序を作っていくのでしょうか？避難所ゲーム「HUG」は静岡県の防災担当部署が企画したシンプルなカードゲームですが、いざ災害の時、避難所運営をどうすれば良いのか、考えさせられるゲームです。ご興味のある方は市民安全課防災統轄係までお尋ねください。

編集後記

この部署に配属されてから1年、当初は空家問題の解決がメインと聞いてましたが、熊本地震以来防災が生活の中心となってきました。自主防災組織の皆様にはこれからもお世話になります。よろしく申し上げます。

発行人 市役所市民安全課